



ごみの減量化を目指して、4月からごみ手数料を改定します

平成20年4月からごみの収集運搬にかかる手数料とごみ処理施設へ直接持ち込む手数料を改定します。

ごみの排出量に応じた負担を求めるほか、ごみ問題を自分のこととして考え、ごみの減量に取り組んでもらおうとするものです。

家庭や事業所などで、ごみについて考えてみませんか。

ごみの排出量が増えています

平成15年度をピークに減少傾向にあったごみの排出量が、平成18年度には増加に転じました。ごみの排出量が増加すると、ごみの収集・処理経費が増えます。また、ごみ処理施設の修繕費が増加するほか、老朽化が早まり新たな施設建設が必要となり莫大な建設経費がかかります。さらに、資源の枯渇や環境汚染にもつながります。

このようなことから、ごみの減量化は、市において緊急の課題です。

ごみの排出量に応じた公正な費用負担を

市は、ごみの排出量の増加に対応するため、ごみの減量化と費用負担のあり方について、8月に出雲市環境審議会（曾我部 國久会長、委員20人）に諮問し、5回の審議を経て、11月に答申が出されました。

ごみの費用負担のあり方については、ごみの減量に関する意識改革の必要性や、原油価格高騰によるごみ指定袋の作成経費の増加、ごみ処理施設の維持管理経費が増加する見通しであることなどから、ごみの排出量に

応じた公正な費用負担を求めるために手数料の見直しが必要との答申がありました。

これを受け、市では4月からごみ手数料を左表のとおり改定します。ご協力をお願いします。

“もったいない”の気持ちで

出雲市の1年間のごみの量は58,209トン（下図参照）。ごみの中には、再利用できるものが数多く含まれています。ごみは一人一人の心がけで確実に減らすことができます。捨てる前に「もったいない」の気持ちで、ごみの減量に取り組みましょう。

1.ごみ収集・運搬手数料

○家庭用・事業用ともに指定袋および収集券を改定します。ただし、リサイクル袋は据え置きます。

区分	種別	手数料（単位：円/1枚）		
		改定前	改定後（4月～）	
家庭用	指定袋	燃えるごみ 破碎ごみ 埋立ごみ	(大) 40円 (小) 20円	50円 30円
		リサイクル (空き缶・空きびん・ ペットボトル専用)	(大) 10円 (小) 5円	10円 5円
	収集券	燃えるごみ 破碎ごみ 埋立ごみ	40円	50円
		粗大ごみ（家具類、自転車など）	500円	1,000円
事業用	指定袋	燃えるごみ 破碎ごみ 埋立ごみ	—	100円 120円
	収集券	燃えるごみ 破碎ごみ 埋立ごみ	100円	120円

2.ごみ処理施設へ直接持ち込む手数料

○手数料の単位を家庭用・事業用ともに100kgから10kgに変更します。
○飼い犬・飼い猫などの動物の死体の処理手数料を設定しました。手数料は1頭につき3,000円です。

区分	改定前	改定後（4月～）
家庭生活により生じるもの 可燃・不燃	420円/100kg	50円/10kg
事業活動により生じるもの 可燃・不燃	1,050円/100kg	150円/10kg
飼い犬・飼い猫等の動物の死体	規定なし	3,000円/1頭

おたすね
資源リサイクル課
(☎25-0530)

ごみを減らすためにできることは

- 生ごみの水切り**
生ごみの約80%は水分です。捨てる前にしっかり絞り出しましょう。
- 紙ごみをリサイクル**
燃えるごみの袋に入れて、新聞、雑誌、菓子箱や包装紙などの雑紙は古紙リサイクルに出しましょう。
- 生ごみの堆肥化**
一般的な電気式生ごみ処理機で、ごみの量を10～20分の1にすることができます。市では電気式生ごみ処理機および生ごみ処理容器の補助制度を行っています。
- 手付かず食品や食べ残しをなくす**
食べることでできる量を考えて買い物をしましょう。



生ごみの水分を絞り出せば、かなりの減量になります

始めてみれば簡単にごみを減量することができます。
家庭や事業所で取り組んでみませんか。

ごみ処理にかかった経費は
13億6,789万円
(平成18年度)

収集・運搬等にかかる経費 **5億1,093万円**
ごみ処理施設にかかる経費 **6億750万円**
その他(海岸清掃・人件費など) **2億4,946万円**

出雲市の1年間のごみの量は
58,209トン(平成18年度)

